

# まちづくり研究所会報

## 巻頭言



会員の皆様、ご無沙汰をいたしております。

会報3号で論じました「分権社会」の第一歩が、この春四月から踏み出されました。今国会で延長されることとなっている分権推進法に基づく今後の論議の行方、自治省に設置された懇話会による地方財源のあり方議論の行方、地方の結束で霞ヶ関に勝てるのかなど、これからどんな歩みになっていくのか大変気がかりであります。

こういった国レベルでの歩みはともかく、「住民」「行政」「議会」の歩みは我々の見識と合意形成により速めることは可能であります。そこで、今回は分権型社会構築に向けての具体的行動について論じてみたいと思います。

また、地方分権論議の中で市長村合併が大きく取り上げられるようになりましたが、それを考えるためのウォーミングアップ用の合併度診断ゲームを作ってみましたのでチャレンジしてください。

さて、衆議院総選挙が間近に迫り、私も「谷垣勝利」「自民党勝利」のために走り回っておりますが、会員の皆様のご支援に感謝申し上げます。ところで、宮津

在住の会員の皆様には、すぐ後にある市長選挙や市議会議員補欠選挙も気になることと存じますが、市長には政治家としての私の生みの親であります徳田敏夫氏が出馬されることとなっておりますが、市議補選はいろいろと噂が飛び交っております。**会員の皆様方の中で、熱い思いをお持ちの方、また、あの人を担ぎたいと考えておられます方がいらっしゃいましたら、遠慮なくご一報下さい。**最後になりましたが、昨年9月2日に実施しました「激論攻めようぜ東京を。」の録音を失敗しましたので概要を掲載することができません。お許し願います。



所長 多賀久雄